



すいかの購入数量

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

夏休みが近くなりました。家族や友人と海へ行く機会も多くなるのではないのでしょうか。そこで今回は、海辺のレクリエーションの一つである「すいか割り」にちなみ、すいかの購入数量について、家計調査の結果から見てみましょう。

購入数量は新潟市が1位

すいかの1世帯当たりの年間購入数量を都道府県庁所在市及び政令指定都市別に見ると平成22～24年平均では、新潟市が8,195gと最も多く、全国平均（4,034g）の約2倍となっています。次いで、鳥取市（6,169g）、熊本市（5,825g）、富山市（5,655g）、千葉市（5,503g）となっています（図1）。

新潟市は「新潟すいか」の産地であり、鳥取市や熊本市なども全国有数の収穫量を誇る産地が近隣にあることから、上位となっているとみられます。

図1 都道府県庁所在市及び政令指定都市別 すいかの購入数量
（平成22～24年平均）



平成19年4月1日現在において政令指定都市であった県庁所在市以外の都市（川崎市、浜松市、堺市及び北九州市）